

平成29年度 授 業 時 間 割 1年前期

月	日	月								日	火								日	水					日	木					日	金								
		1	2	3	4	5	6	7	8		1	2	3	4	5	6	7	8		1	2	3	4	5		1	2	3	4	5		1	2	3	4	5				
		8:50 \$	10:00 \$	11:10 \$	13:00 \$	14:10 \$	15:20 \$	16:30 \$	17:40 \$		8:50 \$	10:00 \$	11:10 \$	13:00 \$	14:10 \$	15:20 \$	16:30 \$	17:40 \$		8:50 \$	10:30 \$	12:50 \$	14:30 \$	16:10 \$		8:50 \$	10:30 \$	12:50 \$	14:30 \$	16:10 \$		8:50 \$	10:30 \$	12:50 \$	14:30 \$	16:10 \$				
		9:50	11:00	12:10	14:00	15:10	16:20	17:30	18:40		9:50	11:00	12:10	14:00	15:10	16:20	17:30	18:40		10:20	12:00	14:20	16:00	17:40		10:20	12:00	14:20	16:00	17:40		10:20	12:00	14:20	16:00	17:40				
4	3								4	入学式									5	医学部オリエンテーション					6	(学部モジュール) 医科生物学 入門	※教養教育					7	(学部モジュール) 医科生物学 入門	※教養教育						
	10	医学 英語 A	医学 英語 B	医と 社会 I	人体 構造 系 骨学	骨学実習			11	医と社会 I (共修)	医学 英語 C	英語 B	英語 A		12	※教養教育					13	※教養教育					14	※教養教育												
	17								18							19	※教養教育					20	※教養教育					21	※教養教育											
	24								25							26	※教養教育					27	※教養教育					28	※教養教育											
5	1								2	医と社会 I	英語A	英語B	発生・ 組織系	国際 医療 英語	3	憲法記念日					4	みどりの日					5	こどもの日												
	8						9								10	※教養教育					11	(学部モジュール) Communication Skill in English	※教養教育					12	※教養教育											
	15	人体構造系 筋学		医学英語 C	英語 B			16								17	18	※教養教育					19	※教養教育																
	22	英語A	英語B					23	英語A						英語B	発生組織系・上皮組織 支持組織 発生組織系・支持組織 筋組織					24		25	※教養教育					26	※教養教育										
6	29	人体構造系 筋学						30			31	1	※教養教育					2	※教養教育																					
	5	人体構造系 筋学				6			7			8	※教養教育					9	(学部モジュール) 長崎医学史・ 原爆医学概論	※教養教育																				
	12			13			14			15	※教養教育					16	※教養教育																							
	19	医学 英語 A	医学 英語 B				20			21	※教養教育					22	※教養教育																							
26						27			28	29	※教養教育					30	※教養教育																							
7	3								4		英語A			5			6	※教養教育					7	※教養教育																
	10								11	試験期間									12			13	※教養教育					14	※教養教育											
	17	海の日								18	試験期間									19			20	※教養教育					21	※教養教育										
	24	試験期間								25	試験期間									26			27	※教養教育					28			29	※教養教育							
	31	試験期間											1	試験期間									2			3	※教養教育					4			5	※教養教育				
8	7	夏季休業								8	夏季休業								9	夏季休業					10	夏季休業					11	山の日								
	14	夏季休業								15	夏季休業								16	夏季休業					17	夏季休業					18	夏季休業								
	21	夏季休業								22	夏季休業								23	夏季休業					24	夏季休業					25	夏季休業								
	28	夏季休業								29	夏季休業								30	夏季休業					31	夏季休業					1	夏季休業								
9	4	試験期間								5	試験期間								6	試験期間					7	試験期間					8	試験期間								
	11	試験期間								12	試験期間								13	試験期間					14	試験期間					15	試験期間								
	18	敬老の日								19	試験期間								20	試験期間					21	試験期間					22	試験期間								

平成29年度 授 業 時 間 割 1年後期

月	日	月							日	火								日	水					日	木					日	金																	
		1	2	3	4	5	6	7		1	2	3	4	5	6	7	8		1	2	3	4	5		1	2	3	4	5		1	2	3	4	5													
		8:50 \$	10:00 \$	11:10 \$	13:00 \$	14:10 \$	15:20 \$	16:30 \$		8:50 \$	10:00 \$	11:10 \$	13:00 \$	14:10 \$	15:20 \$	16:30 \$	17:40 \$		8:50 \$	10:30 \$	12:50 \$	14:30 \$	16:10 \$		8:50 \$	10:30 \$	12:50 \$	14:30 \$	16:10 \$		8:50 \$	10:30 \$	12:50 \$	14:30 \$	16:10 \$													
9	25	人体構造系 脈管			内臓機能体液系 細胞生理、自律、 循環器			(学部モジュール) 医学統計学	26									27						28						29																		
10	2								3	生体分子系	発生組織系 脈管・リンパ					4	※教養教育					5	※教養教育					6	※教養教育																			
	9	体育の日							10						11	12																																
	16	人体構造系 脈管			内臓機能体液系 循環器			(学部モジュール) 医学統計学	17					(地域・地域特) 活動報告会	18	19																																
23			内臓機能体液系 消化器			24	発生組織系 口腔・消化器							25	26	※教養教育						27																										
30	人体構造系 内臓			内臓機能体液系 消化器							31	発生組織系 口腔・消化器			1	2						※教養教育						3						文化の日														
6			防災訓練			7	8	9	※教養教育						10	※教養教育																																
13			内臓機能体液系 呼吸・腎・排泄 酸・塩基平衡			14	15	16	※教養教育						17																																	
20						内臓機能体液系 呼吸・腎・排泄 酸・塩基平衡			21	発生組織系・呼吸器					22						23	勤労感謝の日			24																							
12	4			医と社会	内臓機能体液系 血液と体液			5	発生組織系・泌尿器 発生組織系・男性生殖器 発生組織系・女性生殖器			国際医療英語	6	※教養教育							7	教養教育					8	※教養教育																				
	11			12				13					14						15																													
	18			19				生化学実習					20						21	22	23						24						25	26	27	28	29	30	31									
1	1	元日							2	冬季休業								3	冬季休業					4	冬季休業					5	冬季休業																	
	8	成人の日							9				生化学実習			国際医英	10	教養教育					11	教養教育					12	教養教育																		
	15	人体構造系 内臓			内臓機能体液系 内分泌・代謝・体温			(学部モジュール) 医学統計学	16								発生組織系 内分泌						17						18						19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
22						23	発生組織系																24						25						26	27	28	29	30	31								
29						30				発生組織系			31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				
5	人体構造系		医と社会				6	発生組織系					7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31											
12	振替休日										13	退職教授記念講演会					14	退職教授記念講演会					15	試験期間					16	試験期間																		
2	19	試験期間							20	試験期間					21	試験期間					22	試験期間					23	試験期間																				
	26								27						28						29						30																					
	3								4								5								6								7															
3	5								6								7	春季休業					8						9																			
	12								13								14						15						16																			
	19								20								21	春分の日					22						23																			
	26								27								28	春季休業					29						30																			

医 と 社 会 I

責任者	氏 名	安武 亨	内 線	7987
	教 室	先端医育センター	e-mail	toru@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16:30～17:30		

対象年次・学期	1 年（前期・後期）	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2.5
英語名	Medicine and Society		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

医学生として、プライマリヘルスケアから先進医療についてまで幅広い知識を得るとともに、チーム医療および医療に必要な患者とのコミュニケーションスキルを学ぶ。また、病院やリハビリテーション施設での体験実習を通して、医師の立場や病める人の立場から見た医療・リハビリテーション・介護について実感する。さらに地域包括ケアシステムを理解し、診療器具を実際に操作する中で、診療の心得を習得する。その他にも、情報収集法の会得などの学び方を学び、医学書にはない“大切なこと”を学ぶ。

2. 授業内容（講義・実習項目）

1) 実習

- (1) 学内演習（保健学科と共修）
- (2) 病院見学 長崎大学病院医局
- (3) 患者に寄り添う心得
- (4) 学外施設見学 リハビリテーション施設（保健学科と共修）

2) 医学テーマ

- (1) チーム医療・ワークショップ（保健学科と共修）
- (2) 実習の心得：病院オリエンテーション（保健学科と共修）
- (3) プロフェッショナリズム
- (4) 地域包括ケアシステム
- (5) 地域医療
- (6) 臓器移植・再生医療
- (7) 熱帯医学
- (7) 対人関係
- (8) プライマリヘルスケア
- (9) グローバルヘルス
- (10) 臨床倫理
- (11) 図書館の利用法

3. 教科書、参考書等

適宜プリントを配付する

4. 成績評価の方法・基準

実習状況、出欠状況などを総合して評価する。講義・実習には全て出席すること。授業回数の3分の1を超えて欠席した者は失格とする。

5. 教員名

地域包括ケア教育センター：永田康浩、久芳さやか、西野文子、松坂雄亮、野口郁恵
 保健学科教務委員会：楠葉洋子、松浦江美、森藤香奈子、坂本淳哉、岩永竜一郎
 保健学科：澤井照光、沖田実、東登志夫、宮原春美
 保健学実践教育研究センター：井口茂
 地域医療学：前田隆浩、小屋松淳
 長崎大学病院長：増崎英明
 長崎大学病院看護部長：貞方三枝子
 長崎大学病院リハビリテーション部：
 先端医育センター：安武亨、田中邦彦、江川亜希子、北山素
 医療教育開発センター長：浜田久之、小畑陽子
 学術情報部（図書館担当者）：志波原智美
 非常勤：荒木利卓（長崎医療センター）
 非常勤：八坂貴宏（長崎県離島医療圏組合上五島病院長）

熱帯医学研究所長：平山謙二
第二外科教授：江口晋
非常勤：永田耕司（活水女子大学看護学部看護学科教授）
熱帯医学研究所教授：有吉紅也

「ようこそ先輩」
産婦人科：増崎英明
臨床検査医学：柳原克紀
外傷センター：宮本俊之
第一内科：阿比留教生

6. 備考

学外実習については、オリエンテーションを行うので実施要項に従う。

7. アクティブラーニング

アクティブラーニングを実施する（授業科目の1/3未満）。

H29年度(1年前期)

月	日	曜日	校時	授業内容		担当講座等・教員	教室	
4	10	月	3	ようこそ先輩（１）「発生学と進化論」		長崎大学病院長 増崎 英明	第１講義室	
4	11	火	1	授業ガイダンス クライアントの理解と現代医療を支える医療専門職の役割（１） クライアントの理解と現代医療を支える医療専門職の役割（２） （保健学科と共修）		保健学科教務委員 教務担当理事 澤井 照光 各専攻主任 地域包括ケア教育センター	第２講義室	
			2					
			3					
4	17	月	3	ようこそ先輩（２）		臨床検査医学 柳原 克紀	第１講義室	
4	18	火	1	クライアントの理解と現代医療を支える医療専門職の役割（３） クライアントの理解と現代医療を支える医療専門職の役割（４） クライアントの理解と現代医療を支える医療専門職の役割（５） ワークショップオリエンテーション （保健学科と共修）		保健学科教務委員 病院長 増崎 英明 地域医療学 前田 隆浩・小屋松 淳 看護部長 貞方 三枝子 リハビリテーション部	第２講義室	
			2					
			3					
4	24	月	3	ようこそ先輩（３）「骨を診るコツ」		外傷センター 宮本 俊之	第１講義室	
4	25	火	1	ワークショップ（１） ワークショップ（２）発表 （保健学科と共修）		保健学科教務委員 各専攻主任 地域包括ケア教育センター	第２講義室	
			2					
			3					
5	1	月	3	ようこそ先輩（４）「代謝（タイシャ）学って、面白い！？」		第一内科 阿比留 教生	第１講義室	
5	2	火	1	病院見学実習のオリエンテーション （保健学科との共修）		地域包括ケア教育センター・保健学科・ 先端医育センター	第４講義室	
			2	医師のキャリアパスとプロフェッショナリズム		医療教育開発センター 小畑 陽子		
			3	病院実習オリエンテーション「大学病院の役割」		先端医育センター 安武 亨		
				A	B			
5	9	火	1	病院見学 （長崎大学病院医局）		図書館の利用法・情報検索実習	長崎大学病院医局 第２講義室 C B T室 セミナー室①～⑤	
			2			患者に寄り添う心得		
			3					
5	16	火	1	図書館の利用法・情報検索実習		病院見学 （長崎大学病院医局）	長崎大学病院医局 第２講義室 C B T室 セミナー室①～⑤	
			2	患者に寄り添う心得				
			3					
5	30	火	1	病院見学のフィードバック・まとめ		地域包括ケア教育センター・ 先端医育センター	第４講義室	
			2					
6	6	火	1	学外施設実習のオリエンテーション （保健学科と共修）		地域包括ケア教育センター・保健学科・ 先端医育センター	第２講義室 セミナー室 視聴覚室 ポンペ会館 良順会館 グローバルヘルス研究棟	
			2					
			3					
			4	熱帯医学		熱帯医学研究所 平山 謙二	第２講義室	
			5	臨床倫理入門		長崎医療センター 荒木 利卓		
			6	プライマリヘルスケア		上五島病院 八坂 貴宏		

月	日	曜日	校時	授業内容		担当講座等・教員	教室
				A	B		
6	13	火	1	学外施設見学実習 (保健学科との共修)	学内実習 (保健学科と共修)	地域包括ケア教育センター・ 保健学科・先端医育センター	第4講義室
			2				
			3				
			4				
			5				
			6				
6	20	火	1	学内実習 (保健学科と共修)	学外施設見学実習 (保健学科との共修)	地域包括ケア教育センター・ 保健学科・先端医育センター	第4講義室
			2				
			3				
			4				
			5				
			6				
6	27	火	1	学外施設見学実習の振り返り (保健学科と共修)		地域包括ケア教育センター	第4講義室
			2				
			3				
			4	熱帯医学とグローバルヘルス		熱帯医学研究所 有吉 紅也	第2講義室
			5				
			6	臓器移植・再生医療		第二外科 江口 晋	
7	4	火	1	未定		未定	第2講義室
			2	未定		先端医育センター 田中 邦彦	
			3	対人関係		活水女子大学 永田 耕司	
7	10	月	3	ようこそ先輩（5）		5年生	ボードインホール

H29年度(1年後期)

月	日	曜日	校時	授業内容	担当講座等・教員	教室
12	4	月	3	ようこそ先輩（6）	5年生	第2講義室
2	5	月	3	ようこそ先輩（7）	未定	第1講義室

人 体 構 造 系 I

責任者	氏 名	弦 本 敏 行	内 線	7021
	教 室	肉眼解剖学（解剖学第二）	e-mail	tsurumot@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	月曜17:00-18:00		

対象年次・学期	1 年・前期，後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2
英語名	Human Body Structure 1		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい：人体構造系は「肉眼解剖学」の知識を習得する学問である。講義並びに実習を通して人体の諸構造を理解するための解剖学的知識を修得するとともに、解剖学以外の基礎医学、臨床医学、社会医学などを学ぶための基礎学力をも身につける。その際学ぶ解剖学用語は、一つの概念を表現するために約束された記号であり、かつ将来、臨床医学を学ぶ上で必須の公用語でもある。また、骨学実習は骨の構造を自分の目で観察し正確に記載してゆくという科学的学習態度の初歩を身につける機会として位置づけられる。

到達目標：人体の肉眼解剖学的な種々の諸構造について適切な解剖学用語を用いて具体的に説明できる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

骨学，筋学，脈管学，内臓学，末梢神経学の講義および骨学実習を行う

3. 教科書、参考書等（★は教科書、必携）

書 名	著 者	出版社	定価(税抜)
★グレイ解剖学（第3版）	塩田浩平 他訳	エルゼビア・ジャパン	12,000 円
★ネッター解剖学アトラス	相磯貞和 訳	南江堂	10,000 円
骨学実習の手びき	寺田春水、藤田恒夫	南山堂	4,000 円
分担解剖学1（総説・骨学・筋学）	小川鼎三、森 於菟他	金原出版	9,300 円
分担解剖学2（脈管学・神経系）	平沢 興 他	金原出版	10,600 円
分担解剖学3（感覚器学・内臓学）	小川鼎三 他	金原出版	8,600 円

4. 成績評価の方法・基準

骨学，筋学，脈管学，内臓学についての筆答試験および骨学についての実習試験を行い、総合的に評価する

- ・受験資格 講義：2/3以上出席，実習：原則として皆出席
 - ・分野と配点 骨学実習—50点，骨学—50点，筋学—50点，脈管学—50点
内臓学—100点
 - ・試験と評価 ○本試験：分野毎に可否を評価
○再試験：本試験の不合格分野のみを受験
再試験後、課題レポート等も併せて総合的に評価する
- ※ 本試験，再試験とも無届欠席は失格とする

5. アクティブラーニング

アクティブラーニングを実施する（授業科目の1/3未満）。

6. 教員名

肉眼解剖学分野：弦本敏行、岡本圭史、佐伯和信
顎顔面解剖学分野（歯学部）：真鍋義孝、北川賀一、小山田常一

7. 備考（準備学習等）

- ・毎時間、教科書（グレイ解剖学）を必ず持参すること
- ・骨学実習については、実習予定表に沿って十分に予習しておく

人体構造系Ⅰ授業予定（１年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	10	月	4	骨学 1	骨学総論	解剖 2・弦本	第 2 講義室
			5	骨学実習 1	全身骨格の概観	解剖2・弦本、岡本、佐伯	第 1 実習室
			6				
4	17	月	4	骨学 2	上肢の骨・脊椎	解剖 2・弦本	第 2 講義室
			5	骨学実習 2	上肢の骨・脊椎の観察 (歯学部1年生との共修)	解剖2・弦本、岡本、佐伯 歯学部・真鍋、北川、小山田	第 1 実習室
			6				
4	24	月	4	骨学 3	下肢の骨・胸郭	解剖 2・弦本	第 2 講義室
			5	骨学実習 3	下肢の骨・胸郭の観察 (歯学部1年生との共修)	解剖2・弦本、岡本、佐伯 歯学部・真鍋、北川、小山田	第 1 実習室
			6				
5	1	月	4	骨学 4	頭蓋①	歯学部・真鍋	第 2 講義室
			5	骨学実習 4	頭蓋の観察① (歯学部1年生との共修)	解剖2・弦本、岡本、佐伯 歯学部・真鍋、北川、小山田	第 1 実習室
			6				
5	8	月	4	骨学 5	頭蓋②	歯学部・真鍋	第 2 講義室
			5	骨学実習 5	頭蓋の観察② (歯学部1年生との共修)	解剖2・弦本、岡本、佐伯 歯学部・真鍋、北川、小山田	第 1 実習室
			6				
5	15	月	1	筋学 1	筋学総論	解剖 2・弦本、佐伯	第 1 講義室
			2	筋学 2	頭頸部の筋	解剖 2・弦本、佐伯	第 1 講義室
5	29	月	1	筋学 3	胸腹部の筋	解剖 2・弦本、佐伯	第 1 講義室
			2	筋学 4	背部の筋	解剖 2・弦本、佐伯	第 1 講義室
6	5	月	1	筋学 5	上肢の筋①	解剖 2・弦本、佐伯	第 1 講義室
			2	筋学 6	上肢の筋②	解剖 2・弦本、佐伯	第 1 講義室
6	12	火	1	筋学 7	下肢の筋①	解剖 2・弦本、佐伯	第 1 講義室
			2	筋学 8	下肢の筋②	解剖 2・弦本、佐伯	第 1 講義室

人体構造系 I 授業予定（1 年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	25	月	1	脈管学 1	脈管学総論、心臓①	解剖 2・岡本、弦本	第 1 講義室
			2	脈管学 2	心臓②	解剖 2・岡本、弦本	第 1 講義室
10	2	月	1	脈管学 3	心臓③	解剖 2・岡本、弦本	第 1 講義室
			2	脈管学 4	動脈系①	解剖 2・岡本、弦本	第 1 講義室
10	16	月	1	脈管学 5	動脈系②	解剖 2・岡本、弦本	第 1 講義室
			2	脈管学 6	動脈系③	解剖 2・岡本、弦本	第 1 講義室
10	23	月	1	脈管学 7	静脈系	解剖 2・岡本、弦本	第 1 講義室
			2	脈管学 8	胎児循環、リンパ系	解剖 2・岡本、弦本	第 1 講義室
10	30	月	1	内臓学 1	内臓学総論、消化器系①	解剖 2・弦本	第 1 講義室
			2	内臓学 2	消化器系②	解剖 2・弦本	第 1 講義室
11	6	月	1	内臓学 3	消化器系③	解剖 2・弦本	第 1 講義室
			2	内臓学 4	消化器系④	解剖 2・弦本	第 1 講義室
11	13	月	1	内臓学 5	消化器系⑤	解剖 2・弦本	第 1 講義室
			2	内臓学 6	消化器系⑥	解剖 2・弦本	第 1 講義室
11	20	月	1	内臓学 7	呼吸器系①	解剖 2・佐伯	第 1 講義室
			2	内臓学 8	呼吸器系②	解剖 2・佐伯	第 1 講義室
11	27	月	1	内臓学 9	呼吸器系③	解剖 2・佐伯	第 1 講義室
			2	内臓学 1 0	呼吸器系④	解剖 2・佐伯	第 1 講義室
12	4	月	1	内臓学 1 1	泌尿器系①	解剖 2・弦本	第 1 講義室
			2	内臓学 1 2	泌尿器系②	解剖 2・弦本	第 1 講義室
12	11	月	1	内臓学 1 3	男性生殖器系①	解剖 2・弦本	第 1 講義室
			2	内臓学 1 4	男性生殖器系②	解剖 2・弦本	第 1 講義室
12	18	月	1	内臓学 1 5	女性生殖器系①	解剖 2・弦本	第 1 講義室
			2	内臓学 1 6	女性生殖器系②	解剖 2・弦本	第 1 講義室
1	15	月	1	内臓学 1 7	会陰	解剖 2・弦本	第 1 講義室
			2	内臓学 1 8	腹膜	解剖 2・弦本	第 1 講義室
1	22	月	1	内臓学 1 9	内分泌器系①	解剖 2・弦本	第 1 講義室
			2	内臓学 2 0	内分泌器系②	解剖 2・弦本	第 1 講義室
1	29	月	1	末梢神経系 1	末梢神経総論	解剖 2・弦本	第 1 講義室
2	5	月	1	末梢神経系 2	脊髄神経①	解剖 2・弦本	第 1 講義室
			2	末梢神経系 3	脊髄神経②	解剖 2・弦本	第 1 講義室

生 体 分 子 系

責任者	氏 名	伊 藤 敬	内 線	7037
	教 室	生化学	e-mail	tito@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	金曜日午後1時～午後5時		

対象年次・学期	1年・前期後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	3
英語名	Biochemistry		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

生化学は生命現象を物質レベルの変化で説明しようとする学問である。すなわち生化学的知識とその思考法は生命現象の理解のみならず基礎と臨床を含めた医学全般を理解するためにも不可欠である。生体分子系の講義では、蛋白質、糖質、脂質などの生体分子(Biomolecule)の構造・機能・代謝について、生化学的な基本的事柄を学び、細胞、臓器さらには個体の機能や形態と関連させながら分子レベルで理解することを学ぶ。これらの基礎知識の習得のみでなく、種々の疾患の病態や治療を分子レベルで理解しようとする姿勢を養うことが目標である。

さらに講義の内容の一部は実習により再確認する。実験・学習に際しての心構え・態度を養い、また実験結果のまとめ方を学ぶ。各実験項目は各担当教官が設定した目標に従い、計画されているが、学生個々がこの項目の実験を行うことにより、何を学び、何を修得するのか、目標を定め実験にあたるのが極めて大切になる。そのためには、予習が不可欠であり、各項目の内容等については、予め各担当教官からの説明があるが、実習の手引を熟読して内容を理解した上で実験を行うこと。

2. 授業内容（講義・実習項目）

次の項目について講義を行う。

(1)生命に必要な元素 (2)有機化合物 (3)化学反応論 (4)有機電子論 (5)不飽和炭化水素 (6)医薬品の化学 (7)生体分子(糖質、脂質、アミノ酸、タンパク質、核酸) (7)酵素の構造と機能 (8)代謝総論 (9)糖質の代謝 (10)脂質の代謝 (11)ヌクレオチドの代謝 (12)アミノ酸の代謝 (13)ポルフィリンの代謝 (14)臓器に特有な生化学

3. 教科書

書 名	著 者	出 版 社	定 価
ヴォート生化学上下(3版) 又は ヴォート基礎生化学(3版)	村松正實 訳	東京化学同人	13,400 円
	村松正實 訳	東京化学同人	7,600円

4. 成績評価の方法・基準

授業内容について100点満点の筆答試験を行い、60点以上を合格とし成績評価とする。実習に関してはレポート、実習状況、出欠状況等を総合して評価する。生化学実習は生化学試験受験のための必修課題である。

5. 教員名

生化学：伊藤 敬、中川武弥、米田光宏
薬学部教員
非常勤：宮西隆幸（環境科学部）、
奥田晶彦（埼玉医科大学）
井上聡（東京大学・埼玉医科大学）

6. 備考（準備学習等） 教科書による予習復習

7. アクティブラーニング アクティブラーニングを実施する（授業科目の1/3未満）。

生体分子系授業予定（1年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
5	8	月	2	生命に必要な元素とその振舞い	原子の電子配置、化学結合と混成起動	薬学部・山田 耕史	1講
5	8	月	3	有機化合物の多様性	立体構造の表示と異性体の分類、命名	薬学部・山田 耕史	1講
5	15	月	5	有機化合物の振舞い	電気陰性度、酸性度、共鳴、芳香族性	薬学部・山田 耕史	1講
5	15	月	6	化学反応論	結合エネルギーと遷移状態、速度支配と熱力学支配、反応中間体	薬学部・山田 耕史	1講
5	22	月	5	有機電子論	電子の流れ図の書き方と考え方、反応の分類、極性反応、ラジカル反応	薬学部・山田 耕史	1講
5	22	月	6	不飽和炭化水素の化学	アルケン、アルキン、芳香族化合物	薬学部・齋藤 義紀	1講
5	29	月	5	含酸素有機化合物の化学	アルコール、エーテル、カルボニル化合物	薬学部・齋藤 義紀	1講
5	29	月	6	含窒素有機化合物の化学	アミン、複素環化合物	薬学部・齋藤 義紀	1講
6	5	月	5	生体エネルギー学の基礎(1)	エネルギー学と熱力学	薬学部・齋藤 義紀	1講
6	5	月	6	生体エネルギー学の基礎(2)	生物学的酸化還元反応	薬学部・齋藤 義紀	1講
6	12	月	5	代謝総論	細胞内小器官と代謝	生化学・伊藤	1講
6	12	月	6	代謝総論	代謝の全体像と調節	生化学・伊藤	1講
6	19	月	5	酵素の構造・機能	酵素の一般的性質、酵素の触媒機構	生化学・伊藤	1講
6	19	月	6	酵素の構造・機能	酵素と補酵素の作用機構	生化学・伊藤	1講
6	26	月	5	酵素の構造・機能	酵素反応速度論、酵素の調節機構	生化学・伊藤	1講
6	26	月	6	代謝総論	ミトコンドリア呼吸鎖と酸化的リン酸化	生化学・伊藤	1講
7	3	月	5	代謝総論	アセチルCoAの異化とクレブス回路	生化学・伊藤	1講
7	3	月	6	糖質の代謝	解糖系、アセチルCoA生成グリコーゲン	生化学・伊藤	1講
7	10	月	5	ゲノム医学	未分化幹細胞維持の機構	埼玉医大・奥田	1講
7	10	月	6	ゲノム医学	エストロゲン受容体と癌化	埼玉医大・井上	1講
10	3	火	1	糖質の代謝	ペントースリン酸サイクル	生化学・伊藤	1講
10	3	火	2	糖質の代謝	糖新生、解糖と糖新生の相互関係	生化学・伊藤	1講
10	10	火	1	糖質の代謝	糖鎖修飾	生化学・伊藤	1講
10	10	火	2	糖質の代謝	ムコ多糖とプロテオグリカン	生化学・伊藤	1講

生体分子系授業予定（１年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
10	17	火	1	脂質の代謝	脂肪酸の酸化とケトン体形成	生化学・伊藤	1講
10	17	火	2	脂質の代謝	ケトン体形成とエネルギー	生化学・伊藤	1講
10	24	火	1	脂質の代謝	脂肪酸の合成	生化学・伊藤	1講
10	24	火	2	脂質の代謝	不飽和脂肪酸とエイコサノイド	生化学・伊藤	1講
10	31	火	1	脂質の代謝	貯蔵脂質と膜脂質	生化学・伊藤	1講
10	31	火	2	脂質の代謝	ステロイドの代謝	生化学・伊藤	1講
11	7	火	1	核酸の代謝	核酸の構造と種類	生化学・伊藤	1講
11	7	火	2	核酸の代謝	ヌクレオチドの合成分解と再利用	生化学・伊藤	1講
11	14	火	1	アミノ酸の代謝	アミノ酸の代謝と窒素平衡	生化学・伊藤	1講
11	14	火	2	アミノ酸の代謝	尿素回路	生化学・伊藤	1講
11	21	火	1	臓器の生化学	骨格筋と平滑筋の生化学	環境科学・宮西	1講
11	21	火	2	臓器の生化学	心筋細胞の生化学	環境科学・宮西	1講
12	19	火	4	生化学実習			実1
12	19	火	5	生化学実習			実1
12	19	火	6	生化学実習			実1
1	9	火	4	生化学実習			実1
1	9	火	5	生化学実習			実1
1	9	火	6	生化学実習			実1
1	16	火	4	生化学実習			実1
1	16	火	5	生化学実習			実1
1	16	火	6	生化学実習			実1

発 生 ・ 組 織 系

責任者	氏 名	小路 武彦	内 線	7027
	教 室	解剖学第三（組織発生解剖学）	e-mail	tkoji@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	(木) 16:30～18:00		

対象年次・学期	1年・前期・後期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	2
英語名	Human development and Histology		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

医師となるために必要とされる正常人体組織学と発生学の基礎知識を修得する。それらの知識と組織標本観察力は、病理組織学を始め後に続いて修得する基礎および臨床科目を十分に理解するのに必要である。よって、それら諸科目との関連性を強調しながら、現代発生学および組織学の知識のエッセンスを伝えたい。

本講義により顕微鏡像から組織・器官を特定でき、その形態的特徴を適切な用語を用いて説明できることを到達目標とする。また、各器官の発生学についても説明できる事とする。

2. 授業内容（講義・実習項目）

発生学および組織学総論・各論の講義を行う。講義と平行して組織学の実習を行い、実習内容を必要に応じてチェックする。講義は第一講義室で行い、実習は第二実習室で行う。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
教科書			
カラー機能組織学（原著第2版）	J. B. Kerr	医歯薬出版	10,800 円
標準組織学 総論（5版）	原著：藤田 尚男、 藤田 恒夫 改訂：岩永 敏彦、	医学書院	8,856 円
標準組織学 各論（5版）	原著：藤田 尚男、 藤田 恒夫 改訂：岩永 敏彦、 石村 和敬	医学書院	12,960 円
参考書			
The Developing Human: Clinically Oriented Embryology (10版)	K. L. Moore & T. V. N. Persuad	Saunders	14,072 円
標準細胞生物学（2版）	石川春律、近藤尚武 柴田洋三郎 編	医学書院	5,832 円
ラングマン人体発生学（11版）	T. W. Sadler	医歯薬出版	9,072 円
ムーア人体発生学（8版）	K. L. Moore	医歯薬出版	12,960 円
永遠の不死：精子形成細胞の生物学	小路武彦 編	サイエンス社	2,376 円

4. 成績評価の方法・基準

成績の評価は、学期末に行うカラスライドを用いたペーパーテストに実習参加態度を加味し、最終合否判定を行う。また、LACSに掲げる小テストの達成状況を成績評価に加味する。なお、期末試験の受験には講義及び実習時間数の2/3以上の出席が必要でありこれに満たない場合は失格となる。

ペーパーテストは発生学分野30点、組織学講義分野30点、組織学実習分野40点の100点満点とし、合計点が60点以上で、3分野中2分野の得点が60%以上、1分野の得点が45%以上である場合を合格とする。再試験は年度末に1回だけ行う。

5. 教員名

解剖学第三 : 小路武彦、柴田恭明、遠藤大輔
口腔解剖第一 : 真鍋義孝
第二内科 : 西野友哉／北村峰昭
非常勤講師 : 江島邦彰、進 正志、菱川善隆

6. 備考（準備学習等）

教科書・参考書を用いて予習しておくこと。

7. アクティブラーニング

講義・実習の資料および小テストを順次LACSへアップロードする。自主学習の指定した時間帯は実習室を開放するので各自で予習・復習に活用すること。また、LACSへ掲げる小テストに関しては全問正解するまで完遂すること。小テストの達成状況は試験の成績評価に加味する。

発生・組織系授業予定（1年通年）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	25	火	5	1. 生殖形成	A. 体細胞分裂と成熟分裂	解剖3・小路	第1
			6	1. 生殖形成	B. 成熟過程における形態学的変化	解剖3・小路	第1
5	2	火	5	2. 体腔と漿膜	A. 体腔の形成	解剖3・小路	第1
			6	3. 排卵から着床まで		解剖3・柴田	第1
5	9	火	5	4. 2層性胚盤	A. 三胚葉誘導 B. 2か月中の外形	解剖3・遠藤	第1
			6	5. 3層性胚盤		解剖3・遠藤	第1
5	16	火	5	6. 胚子期		非常勤・江島	第1
			6	7. 胎児期	A. 胎児の発生	非常勤・江島	第1
5	23	火	3	細胞・組織の概念 上皮組織	・分類・上皮細胞間の特殊分化 ・腺（唾液腺）	解剖3・小路	第1
			4	支持組織	・結合組織　・軟骨	解剖3・小路	第1
			5	筋組織	・平滑筋・骨格筋・心筋	解剖3・小路	第1
			6	実習説明	諸注意、顕微鏡引き渡し	解剖3・小路 柴田 遠藤	実2
5	30	火	3	上皮組織 支持組織 筋組織	実習	解剖3・小路 柴田 遠藤	実2
			4				
			5				
			6				
10	3	火	3	脈管系	・心臓脈管の発生　・血液 ・毛細血管・動脈・静脈　・心臓	解剖3・柴田	第1
			4		実習	解剖3・小路 柴田 遠藤	実2
			5				
			6				
10	10	火	3	リンパ性器官	・リンパ性器官の発生　・リンパ ・リンパ節・脾臓・胸腺	非常勤・進	第1
			4		実習	解剖3・小路 柴田 遠藤 非常勤・進	実2
			5				
			6				
10	31	火	3	消化器系（口腔）	・口腔　・歯　・唾液腺	口腔解剖Ⅰ・真鍋	第1
			4		実習	解剖3・小路 柴田 遠藤	実2
			5				
			6				
11	7	火	3	消化器系（Ⅰ）	・消化管の発生　・咽頭 ・食道・胃・小腸・大腸	非常勤・菱川	第1
			4		実習	解剖3・小路 柴田 遠藤 非常勤・菱川	実2
			5				
			6				

発生・組織系授業予定（1年通年）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
11	14	火	3	消化器系（Ⅱ）	・肝臓・胆嚢の発生・肝臓と胆嚢 ・膵臓の発生・膵臓	解剖3・遠藤	第1
			4		実習	解剖3・小路 柴田 遠藤	実2
			5				
			6				
11	21	火	3	呼吸器系	・呼吸器系の発生 ・鼻腔・喉頭・気管・肺	解剖3・柴田	第1
			4		実習	解剖3・小路 柴田 遠藤	実2
			5				
			6				
11	28	火	3	泌尿器系	・泌尿器系の発生 ・腎臓・尿管・膀胱・尿道	内科2・西野／北村	第1
			4		実習	解剖3・小路 柴田 遠藤	実2
			5				
			6				
12	5	火	3	男性生殖器系	・男性生殖器系の発生 ・精巣・精路とその付属腺	解剖3・小路	第1
			4		実習	解剖3・小路 柴田 遠藤	実2
			5				
			6				
12	12	火	3	女性生殖器系	・女性生殖器の発生・卵巣・卵管 ・子宮・膣・外陰部・胎盤・乳腺	非常勤・江島	第1
			4		実習	解剖3・小路 柴田 遠藤 非常勤・江島	実2
			5				
			6				
1	23	火	3	内分泌系（Ⅰ）	・下垂体　・上皮小体　・甲状腺	解剖3・遠藤	第1
			4		実習	解剖3・小路 柴田 遠藤	実2
			5				
			6				
1	30	火	3	内分泌系（Ⅱ）	・松果体・副腎・消化管の内分泌 ・パラガングリオン	解剖3・遠藤	第1
			4		実習	解剖3・小路 柴田 遠藤	実2
			5				
			6				
2	6	火	4	特殊染色実習	チューター制による組織標本染色実習	解剖3・小路 柴田 遠藤	実2
			5				
			6				

内 臓 機 能 ・ 体 液 系 I

責任者	氏 名	蒔田 直昌	内 線	7031
	教 室	分子生理学（生理学第一）	e-mail	nagasakimp@gmail.com
	オフィスアワー	講義曜日の17:00～（ただし試験前1週間を除く）		

対象年次・学期	1年・後期	講義形態	講義
必修・選択	必修	単位数	3.5
英語名	Physiology of Visceral Function and Body Fluid		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

正常の生命現象を主として機能的な側面から探求することによって、「命がどうできているか」という医学の基礎知識を学ぶ。臨床の場においても、生体の生理現象や病的状態を個体・臓器・細胞・遺伝子という異なるレベルで観察・考察し、知識を臨床に応用させることの重要性を体験する。個々の内臓機能を学ぶ臓器の生理学を基礎に、恒常性維持のための統合的調節機構の観点から生体機能を理解できるよう講義を行う。

2. 授業内容（講義項目）

- | | | |
|----------|----------|-----------|
| 1) 細胞生理学 | 5) 呼吸器 | 9) 内分泌・代謝 |
| 2) 自律神経系 | 6) 腎・排泄 | 10) 体温調節 |
| 3) 循環器 | 7) 酸塩基平衡 | |
| 4) 消化器 | 8) 血液・体液 | |

講義は指定した教科書の図を中心にパワーポイントで説明を交えて行う。講義用スライド・資料は各自以下のHPからダウンロードすること。紙の資料は配布しない。

- 分子生理学HP <http://cvmp.med.nagasaki-u.ac.jp/>
- 長崎大学LACS <https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/>

3. 教科書・参考図書

書 名	著 者	出 版 社	定 価
標準生理学 第8版	福田 康一郎 他	医学書院	12,960円
ギャノン生理学 24版	岡田泰伸 他	丸善	10,800円
ガイトン生理学 原著第11版	御手洗 玄洋 他	エルゼビア	21,600円
ボロン ブールペープ 生理学	泉井 亮 他	西村書店	10,260円
人体の正常構造と機能 第2版	坂井 建雄 他	日本医事新報	19,440円

4. 成績評価の方法・基準

試験は前半に1回（細胞生理、自律、循環器、消化器、呼吸：講義数23）、期末に1回（腎・排泄、酸塩基平衡、血液・体液、内分泌・代謝、体温調節：講義数23）を行う。前半および期末試験は講義のコマ数に準じた出題範囲と配点にする（従来のように分子生理・原研医療で分けた試験は行わない。また前半の試験はいわゆる「小テスト」ではない）。再試験は行わない。2回の試験の結果と出席で最終成績を評価する。

旧カリキュラム（内臓機能体液系IまたはII）の再履修者は、旧カリキュラムでの履修済の範囲に関係なく、新カリキュラム内臓機能体液系Iの両試験を受験する。

試験の受験資格、追試験に関しては医学部規定の通り。

5. 教員名

講義担当 分子生理学： 蒔田直昌・辻 幸臣・石川泰輔
 原研医療： 山下俊一・光武範史
 循環器内科： 前村浩二
 非常勤講師： 上田陽一（産業医大）・松本逸郎（活水女子大学）・
 児島将康（久留米大）

6. アクティブラーニング

アクティブラーニングを実施する（授業科目の1/3未満）。

内臓機能・体液系Ⅰ授業予定（１年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	25	月	4	細胞生理	細胞生理学	分子生理・蒔田	第1
			5	自律1	自律神経求心性神経と内臓-内臓反射	産業医大・上田	第1
			6	自律2	自律神経系とストレス反応	産業医大・上田	第1
10	2	月	4	循環器1	心臓の構造・心筋の構造・イオンチャネル	分子生理・蒔田	第1
			5	循環器2	心臓の自動性・膜電位・活動電位	分子生理・蒔田	第1
			6	循環器3	心筋の興奮伝導と収縮の連関	分子生理・蒔田	第1
10	16	月	3	循環器4	ポンプとしての心臓	分子生理・蒔田	第1
			4	循環器5	心電図	分子生理・蒔田	第1
			5	循環器6	血管の機能・構造	分子生理・蒔田	第1
10	23	月	3	循環器7(特別講義)	循環生理と臨床医学の接点	循環器内科・前村	第1
			4	循環器8	静脈・リンパ系、微小循環、局所循環	分子生理・蒔田	第1
			5	循環器9	心臓中枢、血管中枢、循環反射	分子生理・蒔田	第1
			6	循環器	予備	分子生理・蒔田	第1
10	30	月	4	消化器1	消化器総論	原研医療・光武	第1
			5	消化器2	上部消化管	原研医療・光武	第1
			6	消化器3	下部消化管	原研医療・光武	第1
11	6	月	4	消化器4	肝胆膵	原研医療・光武	第1
11	13	月	3	呼吸1	肺の構造、呼吸運動、肺気量	分子生理・石川	第1
			4	呼吸2	肺コンプライアンス、気道抵抗、閉塞性と拘束性疾患	分子生理・石川	第1
			5	呼吸3	ガス交換（酸素の運搬）、ヘモグロビンと酸素飽和度	分子生理・石川	第1
11	20	月	4	呼吸4	ガス交換(炭酸ガスの運搬)、換気血流比	分子生理・石川	第1
			5	呼吸5	肺循環（肺血流、肺血管抵抗、肺内圧）	分子生理・石川	第1
			6	呼吸6	呼吸調節、呼吸中枢	分子生理・石川	第1
11	27	月	3	腎・排泄1	腎臓の構造と機能	分子生理・辻	第1
			4	腎・排泄2	糸球体、傍糸球体装置	分子生理・辻	第1
			5	腎・排泄3	尿細管の機能、再吸収、尿の濃縮	分子生理・辻	第1
12	4	月	4	腎・排泄4	電解質の再吸収と分泌、クリアランス	分子生理・辻	第1
			5	腎・排泄5	血圧の調節、中枢神経系による調節（ホルモンと自律神経系）	分子生理・辻	第1
			6	腎・排泄6	排尿反射、酸塩基平衡の腎の代償	分子生理・辻	第1
12	11	月	4	酸・塩基平衡	血液ガス、pH、酸塩基平衡調節	分子生理・石川	第1
			5	酸・塩基平衡	呼吸性と代謝性酸・塩基平衡異常	分子生理・石川	第1
12	18	月	4	血液・体液1	骨髄幹細胞、赤血球の機能、ヘモグロビン	分子生理・辻	第1
			5	血液・体液2	白血球・リンパ球と生体防御	分子生理・辻	第1
1	15	月	4	内分泌・代謝1	内分泌総論	原研医療・山下	第1
			5	内分泌・代謝2	視床下部・下垂体	原研医療・山下	第1
			6	内分泌・代謝3	副腎・性腺	原研医療・山下	第1
1	22	月	4	血液・体液3	血小板、血液凝固、線溶、補体系	分子生理・辻	第1
			5	血液・体液4	血漿成分の機能	分子生理・辻	第1
			6	血液・体液5	細胞外液と細胞内液	分子生理・辻	第1
1	29	月	3	内分泌・代謝4	甲状腺、副甲状腺	原研医療・山下	第1
			4	内分泌・代謝5	心血管内分泌	原研医療・山下	第1
			5	体温調節1	基礎代謝と体温調節	非常勤講師・松本	第1
			6	体温調節2	高体温（発熱とうつ熱）と低体温の病態生理	非常勤講師・松本	第1
2	5	月	4	内分泌・代謝6	特別講義	久留米大・児島	第1
			5	内分泌・代謝7	同化と異化	原研医療・山下	第1
			6	内分泌・代謝8	骨代謝	原研医療・山下	第1

プレリサーチセミナー

責任者	氏 名	柳原 克紀	内 線	7574
	教 室	臨床検査医学（病態解析・診断学）	e-mail	k-yanagi@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	月～金曜日の17:00～18:00		
対象年次・学期		1年～3年：通年	講義形態	担当教員が講義形態を決定する。
必修・選択		必修 (研究医枠及び熱帯医学研究医枠)	単位数	各1単位
英語名		Pre research seminar		

1. 授業のねらい・目標

基礎医学を担う研究者の育成により卓越した教育及び研究成果を社会に還元することは医学部の使命である。基礎教室配属による少人数教育により基礎科学に必須の基礎的学力や柔軟な応用力を身につけ、科学的思考により問題を解決できる将来の医療人を養うことを目標とする。

2. 配属教室の選択方法

配属教室は、2年次前期終了後に、科目責任者と相談のうえ、仮配属として決定し、3年次のプレリサーチセミナー及びリサーチセミナーで本配属とする。

また、リサーチセミナーの海外実習については、配属教室と相談のうえ、派遣学生としての応募を可能とする。

3. 配属教室

医学部基礎系、熱帯医学研究所及び原爆後障害医療研究所の各教室

4. 授業内容等

1年次：論文研究（ゼミ形式）と各教室研究内容の紹介セミナー

2年次前期：先導生命科学研究支援センター及び共同利用研究センターにおいて、研究医実習を行う。

2年次後期～3年次：配属教室において、研究テーマ・目標を設定し実験を行う。

5. 成績評価の方法・基準

1年次：出席状況及び課題レポート等により総合判断で評価する。

2年次：出席状況及び課題レポート等により総合判断で評価する。

3年次：配属教室での活動、研究成果に基づき配属先の担当教員が100点満点で評価する。

6. 指導教員など

医学部基礎系教室等の教員

7. 備考（準備学習等）

担当教員が提示する。

8. アクティブラーニング

アクティブラーニングを実施する（授業科目の1/3未満）。

平成29年度 1年生 プレリサーチセミナー 日程表

火曜日・7校時(16:30～17:30)

学期	回数	日程	教室名等	学生の集合場所
前期	1	4月11日	オリエンテーション (教務委員長)	病院本館12階 臨床検査医学教室
	2	4月18日	解剖学第一	基礎棟3階 解剖学第一教室
	3	4月25日	感染分子	基礎棟8階 感染分子解析学教室
	4	5月2日	解剖学第二	基礎棟2階 解剖学第二教室
	5	5月9日	解剖学第三	基礎棟2階 小会議室
	6	5月16日	病理学第一	基礎棟5階 病理学第一教室
	7	5月23日	衛生学・分子疫学	基礎棟7階 衛生学・分子疫学教室
	8	5月30日	生理学第二	基礎棟3階 生理学第二教室
	9	6月6日	生理学第一	基礎棟3階 生理学第一教室
	10	6月13日	生化学	基礎棟6階 生化学教室
	11	6月20日	薬理学	基礎棟4階 薬理学教室セミナー室
	12	6月27日	予備日	
	13	7月4日	前期振り返り (教務委員長)	病院本館12階 臨床検査医学教室
後期	1	10月3日	オリエンテーション (教務委員長)	病院本館12階 臨床検査医学教室
	2	10月10日	免疫学	基礎棟7階 免疫学教室
	3	10月17日	原研国際	原研棟4階 研修室
	4	10月24日	公衆衛生学	基礎棟7階 公衆衛生学教室
	5	10月31日	腫瘍医学	基礎棟5階 腫瘍医学教室
	6	11月7日	原研遺伝	原研棟2階 原研遺伝教室
	7	11月14日	原研放射	原研棟4階 原研放射教室
	8	11月21日	法医学	基礎棟6階 法医学教室教授室
	9	11月28日	原研医療	原研棟3階 原研医療教室
	10	12月5日	原研分子	原研棟4階 研修室
	11	12月12日	原研幹細胞	原研棟1階 原研幹細胞教室
	12	12月19日	病理学第二	歯学部本館5階 病理診断科学教室
	13	1月9日	原研病理	原研棟3階 原研病理教室
	14	1月16日	フロンティア生命科学	歯学部C棟6階 リフレッシュルーム
	15	1月23日	全体の振り返り (教務委員長)	病院本館12階 臨床検査医学教室

English for International Medicine

Instructors: Luc Loosveldt/Jim Briganti

Class Time : to be decided

E-mail: lluc@nagasaki-u.ac.jp

Office Hours: to be announced in class

Course Objectives	
This course is designed for students interested in careers in international medicine. Focus will be on developing relevant and effective communication techniques, building fluency in spoken and written English, and reinforcing critical thinking skills in English. A range of materials will be introduced to discuss global health issues. Students will be asked to research and introduce their own materials in class to show their understanding.	
Required Textbooks	
A range of materials will be used to introduce global health issues for discussion.	
Topics	
1	First topic - pre-discussion, useful vocabulary and phrases, assignment of group roles
2	Small group discussion of readings - preparation of introductory presentation
3	Short presentations with Q&A
4	In-group review of short presentations + choosing the next topic
5	Small group discussion of readings - preparation of second short presentation
6	Short presentations with Q&A
7	In-group review of short presentations + choosing the next topic
8	Small group discussion of readings - preparation of third short presentation
9	Short presentations with Q&A
10	In-group review of short presentations + choosing the next topic
11	Small group discussion of readings - preparation of fourth short presentation
12	Short presentations with Q&A
13	Choosing the topic for the final presentation, preparing the poster
14	Review of the poster + practice sessions
15	Final poster presentations + evaluations and review of performance
Course work and Evaluation	
Students will be evaluated on the basis of classwork, assignments, group work, group presentation, on-line forum participation, written assignments, and review tests. A detailed breakdown of the evaluation process will be provided in class.	
<i>*The above syllabus is meant as a general guide, not a definite time table.</i>	

地域医療ゼミ

(テーマ: しまで学ぶ地域医療)

責任者	氏 名	前田 隆浩	内 線	7578, 0959-74-5045
	教 室	離島・へき地医療学講座	e-mail	tmaeda@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	午後4時30分～午後5時30分		

対象年次・学期	1年：前期・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修 (地域医療枠・地域医療特別枠)	単位数	前期, 後期 各1単位
英語名	Comprehensive community medicine in remote islands		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

島嶼部における地域医療の現場を体験し、地域における保健・医療・福祉の役割と機能、そして地域包括ケアについての基礎を理解する。

2. 授業科目の選択方法

新入生オリエンテーション時に説明する。

3. 授業の内容

坂本キャンパスで実施される地域医療研究会で地域医療への知識と理解を深める。そのうえで五島市で行われる集中合宿(2泊3日)に参加し、講義・ワークショップ・施設訪問など現場の地域医療を体験してより理解を深める。

4. 開講時間

地域医療研究会(未定・2か月に1回開催予定)

長崎地域医療セミナー in GOTO 8月19日(金)～8月21日(日)

5. 教科書、参考書等

地域医療テキスト 自治医科大学(監修) 医学書院 ISBN978-4-260-00805-1

(購入は必須ではありません。当講座で貸し出しします。)

6. 成績評価の方法・基準

出席・態度・発表を加味して評価する。

7. 指導教員など

離島・へき地医療学講座、地域医療学分野、へき地病院再生支援・教育機構

地域包括ケア教育センター

8. 備考(準備学習等)

地域医療研究会および長崎地域医療セミナー in GOTOの両方への参加が必須です。地域医療について事前に学習し、自分の意見を持ってからゼミに臨むことが望まれます。ゼミは、基本的に長崎大学医学部と長崎純心大学現代福祉学科との共同で開催します。交通手段は、事前に学務係よりフェリーチケットが配布されます。宿泊費の負担はありませんが、地域医療セミナー期間中の食費については5000円/人(実費)を予定しています。

9. アクティブラーニング

アクティブラーニングを実施する(授業科目の1/3未満)。

地域医療ゼミ (テーマ: へき地・離島医療入門)

責任者	氏 名	調 漸	内 線	7774
	教 室	へき地病院再生支援・教育機構	e-mail	shirabe@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	10:00-16:00		
対象年次・学期		1年：前期	講義形態	講義・実習
必修・選択		必修 (地域医療枠・地域医療特別枠)	単位数	1
英語名				

1. 授業のねらい・方法・到達目標

長崎県で展開されているへき地や離島医療の現状を学ぶ

2. 授業科目の選択方法

新入生オリエンテーション時に説明する

3. 授業の内容

平戸市の平戸市民病院内のへき地病院再生支援・教育機構、地域臨床教育拠点において合宿形式で保健・医療・福祉が連携した地域包括医療・ケアを実習と講義を通して学習する。地域の最前線での経験を基に来るべき未来に求められる医療について考える。

坂本キャンパスで、地域医療の最前線で活躍している医療者による講義を行う。

4. 開講時間

夏期休暇中に2泊3日程度の集中講義と、坂本キャンパスでの講義（金曜日6時限目18:00～19:30）を行う。講義は指定した日に受講する（平成29年6月16日を予定している）

5. 教科書、参考書等

インターネット検索サイトや書籍などを利用して地域医療について調べておくことが望ましい。

6. 成績評価の方法・基準

出席、合宿参加、レポート提出

7. 教員名

中桶 了太

調 漸

8. 備考（準備学習等）

臨床教育拠点への移動は公共交通機関の利用が望ましい。

熱帯医学ゼミ (テーマ: 熱帯医学入門)

責任者	氏 名	有吉 紅也	内 線	7840
	教 室	熱帯医学研究所	e-mail	kari@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	月曜12:00～12:30		

対象年次・学期	1年：前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修 (熱帯医学研究医)	単位数	1
英語名	Introduction of Tropical Medicine		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

授業のねらいは、将来熱帯医学研究医を目指す学生に、熱帯医学における医学研究の重要性を理解させ、熱帯医学に関連する幅広い視野を持たせることにあ
る。その方法として、本学において進行中の医学研究活動を紹介し、本学の取り
組みに興味を頂かせる。

2. 授業科目の選択方法

新入生オリエンテーション時に説明する。

3. 授業の内容

熱帯医学に関係する医学研究を実施している本学医学系教室及び熱帯医学研究
所教室の教授が、各分野の背景を平易な用語で説明しながら、研究活動の概要を
紹介する。

4. 開講時間・場所

月曜日 7校時(16:30-17:30)・熱帯医学研究所1階小会議室

5. 教科書、参考書等

6. 成績評価の方法・基準

出席状況、レポート(英文)提出等を考慮して評価する。

7. 指導教員など

8. 備考(準備学習等)

9. アクティブラーニング

アクティブラーニングを実施する(授業科目の1/3未満)。

医学ゼミ

責任者	氏名	柳原 克紀	内線	7574
	教室	臨床検査医学（病態解析・診断学）	e-mail	k-yanagi@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	月～金曜日の17:00～18:00		

対象年次・学期	1年：前期、後期 2年：前期、後期 3年：前期 4年：前期	講義形態	担当教員が講義形態を決定する。
必修・選択	必修	単位数	前期、後期各1
英語名	Small group medical seminar		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

必修選択の科目であり、各科目10名前後の少人数教育を行う。自らが特に学習したい分野を選択し、その分野についてコアとなる教科内容を越えて特定の内容を深く掘り下げる学習を行う。当該分野の医学・科学に対する探求心・問題解決能力の育成と、より深い理解を目指す。少人数で担当教員との双方向性の授業を行うことにより教官と親しく交流すると共に、1年次から4年次まで学年間の壁を越えて共に学ぶ環境を提供する。AO学生は、医学ゼミを通して当該領域の知識を深める。

2. 授業科目の選択方法

- 各開講科目について、教育目標、授業内容、担当教員、開講場所、開講時間帯等を公示する。
- 各学年開始前に、前期・後期別に受講希望科目を学務係に提出する（第3希望まで）。
- 第1希望を優先し、各科目へ学生の割り振りを行う。

3. 教科書、参考書等

担当教員が提示する。

4. 成績評価の方法・基準

1、2年次前期・後期、3年次前期、4年次前期に開講する。3年次への進級には2年次で1単位以上、4年次への進級には3年次までに2単位以上、5年次への進級には4年次までに3単位以上修得する必要がある。卒業のための最低修得単位数は3単位である。

5. 指導教員など

医学科、熱帯医学研究所、先導生命科学研究支援センター教員

6. 備考（準備学習等）

担当教員が提示する。

7. アクティブラーニング

アクティブラーニングを実施する（授業科目の1/3未満）。

平成29年度「医学ゼミ」・「地域医療ゼミ」開講テーマ一覧(1年生)

教室	責任者名	ゼミテーマ(サブタイトル)	目的・方針	内容	開講時間	場所	評価方法	備考
地域医療学	前田 隆浩	しまで学ぶ地域医療集中ゼミ	地域医療の現状について、自ら調べ、現場のプロフェッショナルから話を聞き、地域医療を理解する。	・地域医療に関する論文(邦文・欧文)や記事、教科書、書籍を集めまとめる。 ・WS形式で知識を共有し理解を深める。 ・実際に地域医療の現場のプロフェッショナルに話を聞く。 ・現在の地域医療について把握し、地域医療の今後について考える。 ・月に一回程度行われる、地域医療の現場で働く人を招いて行う研究会に出席する。	地域医療研究会(未定・2か月に1回開催予定) 長崎地域医療セミナー in GOTO 8月20日(日)～8月22日(火)	地域医療研究会(坂本キャンパス) 長崎地域医療セミナー in GOTO (長崎県五島市)	出席・発表・レポート	地域医療研究会および長崎地域医療セミナー in GOTOの両方への参加が必須です。地域枠入学生を主な対象としますが、地域医療に関心のある地域枠でない学生さんの受講も可です。 ※地域医療セミナー期間中の食費については5000円/人を予定しています。
原研国際	高村 昇	国際保健入門(1)	推薦入学国際枠で入学した学生を中心に、世界を目指す医師・医学者を養成する目的で、原研における活動、特に国際保健分野における活動を紹介する。勿論、一般入試での学生も歓迎する。	AO国際枠で入学した学生を中心に、世界を目指す医師・医学者を養成する目的で、原研における活動、特に国際保健分野における活動を紹介する。勿論、一般入試での学生も歓迎する。	月曜日5校時	原研棟3階コミュニティセンター	出席状況、ゼミにおける発表内容等を考慮して評価する。	
へき地病院再生支援・教育機関	調瀬、中桶了太	平戸で学ぶ地域医療集中講義	へき地や離島の医療現場を体験する。	・長崎県平戸市、平戸市民病院で開催される2泊3日の集中講義に参加する。地域医療実習(在宅医療など)講義、ワークショップを通して地域医療に対する理解を深める。 ・夏期集中講座の前、6月16日に長崎県の離島・へき地医療についての概論の講義を行う。	《集中講義》 H29年6月16日 H29年8月25日～27日	6月16日医学部基礎棟1階 8月25日～27日長崎県平戸市国民健康保険平戸市民病院	出席・レポート・発表で評価を行います	地域枠1年生は必須単位を取得可能です(五島もしくは平戸いずれかを選択) 地域枠以外の出席も可能です 6月16日の講義は、夏期集中セミナー参加希望者は受講すること。 夏期集中セミナーでは食費、宿泊費として5000円/3日間必要です。佐世保駅まで送迎いたします

English Foundation Course for First Year Medical Students

Instructors: Luc Loosveldt
Jim Briganti

Class Time: to be decided

E-mail: lluc@nagasaki-u.ac.jp
jbriganti@nagasaki-u.ac.jp

Office Hours: to be announced in class

Course Objectives	
The aim of the course is to develop students' English and critical thinking skills in a cooperative and supportive environment. Students will be asked to actively engage in English. The language skills learned in this course will serve as a foundation for future Medical English courses and for the types of language skills needed in medical students future roles as healthcare professionals.	
Required Textbooks	
<i>Readings to be assigned in class.</i>	
Syllabus*	
1	Introduction and overview of the course – self-introductions, study goals, first reading assignment
2	Medical Vocabulary + first main reading
3	Medical languageMain Ideas and Supporting Ideas - finding the main idea, skimming and scanning
4	Main Ideas and Supporting Ideas - using outlines
5	Main Ideas and Supporting Ideas - Paragraphs and the Topic Sentence
6	Organizational Structure - second main reading
7	Organizational Structure - Organizing information, recognizing and understanding relationships within a text
8	Organizational Structure - Organizing information, recognizing reference
9	Coherence and Cohesion - connectors and transition words, speech markers
10	Coherence and Cohesion - Cohesion and coherence in the paragraph
11	Summarizing - third main reading
12	Summarizing - preparing narrative summaries
13	Non-verbal communication and Inference
14	Final group presentations and assessment
15	Final group presentations and assessment
Course work and Evaluation	
Students will be evaluated on the basis of class participation, assignments, vocabulary quizzes, group presentations and final group reports.	
<i>*The above syllabus is a general guide, not a definite time table, and is subject to change..</i>	

学部モジュール(医科生物学入門)

学期	第1クオータ	曜日・校時	木1・2、金1・2
開講期間			
必修選択	必	単位数	2.0
時間割コード		科目番号	
授業科目名	●医科生物学入門		
編集担当教員	永山 雄二		
授業担当教員名(科目責任者)	永山 雄二		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	永山 雄二、李 桃生、吉浦 孝一郎、浦田 芳重、小路 武彦、蒔田 直昌、由井 克之、森 望、篠原 一之		
科目分類	学部モジュール科目		
対象年次	1年	講義形態	講義科目
教室	以下の授業内容に記載のとおり。		
対象学生(クラス等)	医学科1年生		
担当教員Eメールアドレス	nagayama@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	原爆後障害医療研究所		
担当教員TEL	095-819-7173		
担当教員オフィスアワー	毎日、7:30-8:50		
授業の概要及び位置づけ	生物学や生命科学、ひいては医学の基礎となる生物学を高校の教科書である「生物基礎」と「生物」を使って学ぶ。同時に医学英語に親しみ、英語専門用語も身に付ける。		
授業到達目標	「生物と遺伝子」、「生物の体内環境の維持」、「生命現象と物質」、「生殖と発生」、「生物の環境応答」について説明できる。		
授業方法(学習指導法)	講義		
授業内容	回	内容・教室	
	1	生物の多様性と共通性、生命現象と物質(1)	4講
	2	同上	4講
	3	生命現象と物質(2)	4講
	4	生物と遺伝子(1)、生命現象と物質(3)	4講
	5	生物と遺伝子(2)、生命現象と物質(4)	3講
	6	生命現象と物質(5)	3講
	7	生物と遺伝子(3)、生殖と発生(1)	3講
	8	生殖と発生(2)	3講
	9	同上	3講
	10	生物の体内環境の維持(1)	3講
	11	生物の体内環境の維持(2)、生命現象と物質(6)	3講
	12	生物の環境応答(1)	3講
	13	生物の環境応答(2)	3講
	14	同上	3講
	15	試験	4講
	16	試験	4講
キーワード	細胞、DNA、染色体、遺伝子、代謝、免疫		
教科書・教材・参考書	生物基礎、生物(数研出版)		
成績評価の方法・基準等	出席2/3以上が必要。 4/28の試験60点以上で合格。本試のみ。		
受講要件(履修条件)	原則すべての講義に出席できること。		
備考(URL)	シラバスに沿って予習をしてくる。		
学生へのメッセージ	医学専門科目のための入門講義です。基礎知識をしっかり身につけて、将来の専門科目に備えてください。		
アクティブラーニング	実施する(授業科目の1/3未満)。		

学部モジュール(医学史・原爆医学と長崎)

学期	第2クオータ		曜日・校時	金1、2
開講期間				
必修選択	必	単位数	2.0	
時間割コード	20162016000601	科目番号	20160006	
授業科目名	●医学史・原爆医学と長崎			
編集担当教員	高村 昇			
授業担当教員名(科目責任者)	高村 昇			
授業担当教員名(オムニバス科目等)	高村 昇,山下 俊一,宮崎 泰司,中島 正洋等			
科目分類	学部モジュール科目			
対象年次	1年	講義形態	講義科目	
教室	以下の授業内容に記載のとおり。			
対象学生(クラス等)	1年・前期			
担当教員Eメールアドレス	takamura@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室	国際保健医療福祉学研究分野(原研国際)			
担当教員TEL	095-819-7170			
担当教員オフィスアワー	金曜日午後5時～6時			
授業の概要及び位置づけ	本授業のねらいは、長崎における西洋医学教育の歴史について、さらには放射線被ばくによる健康影響の実態を学び、長崎大学医学部で学ぶことの意義を再認識し、原爆被爆者、さらには世界のヒバクシャについての最新の知見に触れることにあります。そのために、まずは西洋医学伝来と放射線、放射線被ばくについての基礎知識を整理し、原爆の実相、そして放射線被ばくによる急性影響と晩発性影響(後障害)を、血液疾患や悪性腫瘍などを中心に学んだうえで、被爆者の健康管理についても学びます。さらには、現在の世界における核兵器廃絶に向けた潮流について学ぶほか、2011年の福島第一原子力発電所事故への対応から復興に向けた取り組み、さらには事故を受けた原子力防災についても細心の知見を講義する予定です。			
授業到達目標	1. 長崎における西洋医学の歴史について概説できる。 2. 放射線についての基礎的事項について、概説することができる。 3. 放射線被ばくの健康影響について概説することができる。			
授業方法(学習指導法)	各教員による講義を中心に進めていくが、講義の終わりには随時質問を受け付けるので、積極的に質問すること。 また、最終講義時にはまとめと質疑の時間を別途設けるものとする。			
授業内容		回	内容・教室	
		1	6/9(金) 1校時 オリエンテーション 医学史とは？原爆医療とは？(原研国際 高村) 1講	
		2	6/9(金) 2校時 医学史と長崎(1) 永井隆はじめ原爆医療の先駆者 (原研医療 山下) 1講	
		3	6/16(金) 1校時 医学史と長崎(2) ツェンベリー、シーボルトとモーニッケの医学と博物学 (長崎原爆病院・相川) 1講	
		4	6/16(金) 2校時 医学史と長崎(3) 南蛮医学と紅毛医学(ヴォルフガング・ミヒエル) 1講	
		5	6/23(金) 1校時 医学史と長崎(4) 養生所と日本の近代医学(長崎原爆病院・相川) 1講	
		6	6/23(金) 2校時 原爆被爆者医療(1) 原爆の造血に対する影響(原研内科・宮崎) 1講	
		7	6/30(金) 1校時 原爆被爆者医療(2) 被爆者腫瘍の病理疫学(原研病理・中島) 1講	
		8	6/30(金) 2校時 原爆被爆者医療(3) 被爆者の健康管理(原研情報室・横田) 1講	
		9	7/7(金) 1校時 原爆被爆者医療(4) 被爆者医療行政の実際(厚生労働省・長谷川) 1講	
		10	7/7(金) 2校時 核兵器の非人道性(1) 国際人道法と核兵器 (RECNA・広瀬) 1講	
		11	7/14(金) 1校時 核兵器の非人道性(2) 核兵器の非人道性をめぐる国際的な動向 (RECNA・中村) 1講	
		12	7/14(金) 2校時 放射線事故対策(1) 原子力災害からの地域復興(原研国際・高村) 1講	
		13	7/21(金) 1校時 放射線事故対策(2) 福島第一原子力発電所事故対応 (福島県立医科大学・大津留) 1講	
		14	7/21(金) 2校時 放射線事故対策(3) 原子力災害医療 (国際ヒバクシャ医療センター・宇佐) 1講	
		15	7/28(金) 1校時 まとめ 講義まとめ、質疑応答(原研国際・高村) 1講	
キーワード	西洋医学 医学史 原爆 放射線 福島 被ばく医療			
教科書・教材・参考書	特に指定しない。必要に応じて、講義の際に資料を配布する。			
成績評価の方法・基準等	テーマに従い、レポートを提出することによって評価を行う。			
受講要件(履修条件)				
備考(URL)	http://abomb.med.nagasaki-u.ac.jp/abdi/index.html			
学生へのメッセージ	事前に原爆資料館や国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館、永井隆記念館などを訪問して自己学習をしておくこと。			
アクティブラーニング	実施する(授業科目の1/3未満)。			

学部モジュール(医学統計学)

学期	後期	曜日・校時	月16:30-18:00
開講期間			
必修選択	必	単位数	2.0
時間割コード	20162016000301	科目番号	20160003
授業科目名	●医学統計学		
編集担当教員	本多 正幸		
授業担当教員名(科目責任者)	本多 正幸		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	本多 正幸,三根真理子,近藤久義		
科目分類	学部モジュール科目		
対象年次	1年	講義形態	講義科目
教室	医学部CBT室もしくは第1講義室		
対象学生(クラス等)	医学部1年		
担当教員Eメールアドレス	m-honda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医療情報学		
担当教員TEL	095-819-7536		
担当教員オフィスアワー	16:30-17:30 火曜日		
授業の概要及び位置づけ	医学統計特有の手法も存在するが、まず統計学の基本を理解することが肝要である。確率などの数学的な素養があることを前提とするが、1年次であることを考え基本的な概念、考え方を理解することを目指し、高次学年や将来における医学研究の基礎力となる統計学の知識の習得を目指す。また、IT化の時代であり、コンピュータ演習を通して統計学およびデータ分析の基礎を学習する。		
授業到達目標	以下の2点を到達目標とする。 1) 科学的方法における統計学の位置付けを理解し、記述統計学、確率分布の概念と代表的分布、母集団と標本における推測統計学などを中心に学習し、基礎的事項を説明できる。 2) 医学データ、臨床データ等を用いた演習を通して、基礎的事項の理解を深め、データ見る目を養うとともに基本的なデータ解析ができる。		
授業方法(学習指導法)	講義形式と演習形式(医学部CBT室) 担当: 医療情報学: 本多正幸(1回目～5回目) 原研情報: 三根真理子(6, 7回目, 13～15回目) 原研情報: 近藤久義(8回目～12回目) ※なお、講義順、担当は変更する場合あり		
授業内容	統計学の基礎的事項を講義、演習を通して理解させる。講義は、原則プレゼンソフトにより行うが、参考書等に掲載されている医学論文掲載データ等を実例として紹介する。また、演習は各自PCを用いて、表計算ソフト、統計解析ソフトなどの実習を通して統計解析手法を体験する。		
	回	内容	
	1	9/25 オリエンテーション(目的・概要、研究デザイン(相対危険度とオッズ比))	
	2	10/2 記述統計Ⅰ(平均、中央値、SD、SE)	
	3	10/16 確率・確率分布Ⅰ(確率とベイズの定理、臨床判断学)	
	4	10/23 確率・確率分布Ⅱ(正規分布と2項分布)	
	5	10/30 記述統計Ⅱ(相関と回帰)	
	6	11/6 演習Ⅰ	
	7	11/13 演習Ⅱ	
	8	11/20 母集団と標本(5回目までの補足を含む) 第1講義室orCBT室	
	9	11/27 推測統計Ⅰ(推定、区間推定、t分布)	
	10	12/4 推測統計Ⅱ(仮説検定の概念、標本の大きさの計算)	
	11	12/11 推測統計Ⅲ(1標本検定と2標本検定) 第1講義室orCBT室	
	12	12/18 推測統計Ⅳ(分割表検定、分散分析と多重比較)	
	13	1/15 演習Ⅲ	
	14	1/22 演習Ⅳ	
	15	1/29 まとめ	
	16		
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は特にしてしない。教材、資料等は授業中に配布する。また、下記の本を参考書として指定するが、特に購入する必要はない。また、別の参考書等は適宜紹介する。 (参考:「論文が読める! 早わかり統計学 ―臨床研究データを理解するためのエッセンス―」(第2版)、メディカル・サイエンス・インターナショナル)		
成績評価の方法・基準等	定期考査60%、授業中の課題に対する取り組み状況20%、レポート20%		
受講要件(履修条件)			
備考(URL)			
学生へのメッセージ			
アクティブラーニング	実施する(授業科目の1/3未満)。		

学部モジュール (Communication Skill in English)

学期	第1クオータ	曜日・校時	木1・2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード		科目番号	
授業科目名	●Communication Skill in English		
編集担当教員	柳原 克紀		
授業担当教員名(科目責任者)	柳原 克紀		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	柳原 克紀、ブリガンティ ジェイムス、ロースフェルト ルーク、田中 邦彦、桑原 宏永、隈上 麻衣、河野 圭、佐賀大学・青木洋介教授 ほか		
科目分類	学部モジュール科目		
対象年次	1年	講義形態	講義科目
教室	[医学科]第3講義室、セミナー室、視聴覚セミナー室、グビローニングセンターセミナー室、記念講堂		
対象学生(クラス等)	医学科1年生		
担当教員Eメールアドレス	k-yanagi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	臨床検査医学(病態解析・診断学)		
担当教員TEL	095-819-7574		
担当教員オフィスアワー	月～金の17:00～18:00		
授業の概要及び位置づけ	本科目は、WritingとReadingに係る講義を中心として、医学英語・科学英語に親しみ、本学科における英語及び医学学習への円滑な導入を目的とする。 授業の最後には班ごとのポスタープレゼンテーションを行い、アクティブラーニングを推進する。 また、グループワークを通じ、学習における自主性・協調性・英語スキルを養い、今後医学英語を学ぶことの足がかりとする。		
授業到達目標			
授業方法(学習指導法)	講義		
授業内容	回	内容	
	1	イントロダクション (5/11 1校時 第3講義室)	
	2	特別講義 (5/11 2校時 第3講義室)	
	3	English Communication (5/18 1校時 第3講義室)	
	4	English Communication (5/18 1校時 第3講義室)	
	5	演習: Medical interview (5/25 1校時 専斎ホール)	
	6	演習: Medical interview (5/25 2校時 専斎ホール)	
	7	プレゼンテーション (6/1 1校時 記念講堂)	
	8	プレゼンテーション (6/1 2校時 記念講堂)	
キーワード			
教科書・教材・参考書			
成績評価の方法・基準等			
受講要件(履修条件)			
備考(URL)			
学生へのメッセージ			
アクティブラーニング	アクティブラーニング(授業の1/3以上、2/3未満)を実施する。		